

(様式 1)

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県立山博物館 文化振興室文化政策課

2 施設所在地
中新川郡立山町芦峠寺93-1

3 施設設置年度
平成3 年度

4 設置目的
立山の雄大な自然及びそれにはぐくまれた立山信仰の精神世界を紹介するとともに、展示館、遙望館、まんだら遊苑等のほか、文化財、遺構等の施設及び歴史的風致を総合的に活用し、県民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造 展示館…鉄筋コンクリート造3階建
遙望館…木造2階建
資料館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
山岳集古未来館…鉄筋コンクリート造2階建
まんだら遊苑 (地界) …鉄筋コンクリート造地上1階地下1階
まんだら遊苑 (天界) …鉄筋コンクリート造地上1階地下2階

②敷地面積 130,578.5㎡

③建物面積 5,945.33㎡

④施設内容 展示館…延床面積1,784.84㎡(3階建)うち、展示面積1,082.28㎡
遙望館…延床面積663.95㎡(2階建)うち、展示面積204.14㎡
資料館…延床面積630㎡(2階建)
山岳集古未来館…延床面積313.90㎡(2階建)
まんだら遊苑…地界、陽の道、天界、闇の道
敷地面積20,000㎡延床面積1,401.92㎡
歴史的建造物…教算坊、鳴家、有馬家、善道坊、合掌休憩舎
延床面積982.36㎡
かもしか園…敷地面積11,000㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数 (人)

R1	R2	R3	R4	R5
77,390	47,503	57,010	64,621	63,884

(2) 利用(使用)料金収入 (千円)

R1	R2	R3	R4	R5
9,263	7,416	6,916	9,746	9,436

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和5年度は、夏休みやシルバーウィークなどの休日に天候が良かったことにより、8月と9月の入館者は前年より10%以上増えているものの、5月～7月にかけて大雨や天候不順があり、その時期の入館者が減った、総入館者数は63,884名と令和4年度比1.1%減となり若干減少した。有料3施設においては、平日は入館者が増えているものの、土日祝日の利用が減少している。
観覧料・使用料収入は、入館者減少に伴い、9,436千円と令和4年度比3.2%減となった。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・展示館窓口で特別企画展の図録や立山博物館オリジナルグッズ等の販売に協力した。
- ・インターネット（ホームページやSNS）を活用し、開館状況及びイベント等の情報を速やかに発信した。
- ・受付窓口にて立山黒部アルペンルートや県内市町村の観光パンフレット配布などの立山博物館を含む観光案内サービスを充実させた。
- ・平成21年度から高齢者や障害を持つ方のための介助技術やホスピタリティを学んだサービスケアアテンダント資格を有した職員を配置し、接客に当たっている。
- ・平成29年度から観覧料等の支払いにクレジットカード・電子マネー決済対応に加え、令和2年度からPayPayやLINEPayなどの二次元コードキャッシュレス決済サービスを導入し、利便性向上を図っている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・財団のホームページなどにより県内外に向けて効果的な広報・情報発信を行った。
- ・令和2年度から地元で愉しもう富山観光キャンペーン事業に参加して、クーポンによる観覧料支払に対応し、集客を図った（令和5年9月末まで実施）。
- ・令和3年度からJAFアプリクーポンプレゼント企画に参加し、利用促進を図っている。
- ・令和4年度からモンベルフレンドショップに施設を登録し、会員プレゼントなどの利用促進を図っている。
- ・令和4年度からTV・ラジオ・動画配信サイトなどの番組製作に協力し、施設の魅力発信に努めている。
- ・「富山県マイナンバーカード利活用を推進するための実証事業」（令和5年4月27日～9月30日実施）に参加し、集客を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年
回答者数	222人
結果	90%以上満足
結果を踏まえた改善事項	利用者には概ね満足いただいているが、今後も高い満足度を維持するため、おもてなしの心を持って丁寧に接客するよう職員を指導した。

②その他利用者の声を反映させる取組み

利用者から寄せられたアンケート結果・意見・要望を利用者サービスに反映させるため、職員全員で情報を共有し、必要に応じて改善した。

③主な苦情と対応

無

(5)個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定めて職員に周知を図り、適正に個人情報を取り扱っている。

(6)関係団体との連携

地元宿泊施設、立山町商工観光課、立山黒部貫光株式会社などと協力し、施設のPRを行った。

(7)施設・設備の維持管理

専門保守業者による保守点検とは別に職員による自主点検を毎月行うなど、適切に管理している。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

- ・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、防災訓練の実施や各種機器点検を実施した。
- ・熊、イノシシ被害防止対策(監視体制の強化、野外施設の草刈、忌避剤散布、防獣ネット・熊撃退スプレー・夜間警報ライト・忌避用音響機器の設置)を実施した。
- ・かもしか園周辺で熊が確認されたため、立山町や地元猟友会による害獣探知カメラや熊捕獲用ワナの設置に協力した。
- ・スズメバチ、蛇、コウモリ、カメムシ等の被害防止対策を実施した。
- ・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症分類の5類引き下げに伴い、これまで協力依頼していた来館時の検温・手指消毒及び人との距離の確保について、来館者個人の判断とした。なお、空調の外気取込量の増加などの換気による対策及び不特定多数の方が触れる場所のアルコール消毒は継続した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	12
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・令和5年9月に、文化観光推進法に基づき「立山博物館を中核とした文化観光拠点計画」が国に認定されたこともあり、引き続き博物館各施設の整備と保全、広報等に努め、文化資源の活用による地域活性化の推進に取り組んでもらいたい。この計画では、令和4年度の6.5万人の来館者を令和9年度で9万人にすることを目標に掲げている。今後も利用者に安全で快適な環境を提供するとともに、まんだらナイトウォーク等利用促進事業の一層の充実を図り、着実に利用者を増やしてほしい。
- ・開館から30年以上が経過し、防災設備や嶋家、善道坊、合掌休憩舎の屋根等、施設の老朽化が著しくなっている。令和6年1月に発生した能登半島地震による施設の破損(又は地震を原因とする設備老朽化の進行)も各所に発生しているため、県への報告を密にし、計画的に修繕しながら、施設の運営と来館者の安全に影響がでないように注力してもらいたい。